

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

令和 2 年 3 月 30 日

計画の名称	5.3. 拠点アクセス向上による地域活性化支援			
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	熊本県	
計画の目標				

○九州の南北の九州域内あるいは他地域との時間距離が大幅に時間短縮された九州新幹線開業（H23.3開業）効果を最大限に発揮し、駅へのアクセス向上や全国でも有数の地下水が豊富な地域による企業立地などを相互に連携する工業団地アクセス道路の整備等、物流や広域交通の活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- 新幹線アクセス道路の整備効果において、新幹線利用客数の増加割合を637万人(H25)から670万人(H29)に増加。
- 拠点アクセス道路の整備効果に伴い、道路利用率の割合を17.0%(H25)から61.0%(H29)に増加。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値 (H25当初) 中間目標値 (H27末) 最終目標値 (H29末)

①新幹線利用客数の増加割合 = (評価時点の新幹線利用客数 - H24の年間新幹線利用客数) / (H24年間新幹線利用客数)

637万人/年 653万人/年 670万人/年

②拠点アクセス道路の道路利用率 = Σ (改良済み延長 × 交通量) / Σ (整備区間延長 × 交通量) × 100

18.1% 20.1% 20.1%

全体事業費

合計 (A+B+C)

6,165百万円

A

6,157百万円

B

8百万円

C

-

効果促進事業費の割合
C / (A+B+C)

-

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

事後評価（中間評価）の実施時期

交付期間終了（予算執行完了）後

県の事業担当課により評価を実施

公表の方法

熊本県ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業				直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H25	H26	H27	H28	H29		
53-A1-3	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一) 竜北小川停車場線（江頭）	新設・バイパス	宇城市						360	
53-A1-4	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一) 幸川鹿本線（福原工区）	新設・バイパス	菊陽町、合志市						156	
53-A1-5	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 大津植木線（辻久保）	新設・バイパス	合志市						347	
53-A1-6	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 宇土不知火線（網津工区）	新設・バイパス	宇土市						210	
53-A1-7	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 熊本大津線（豊岡工区）	現道拡幅	合志市						237	
53-A1-8	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一) 幸川鹿本線（幸川工区）	新設・バイパス	菊陽町						128	
53-A1-9	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 大牟田植木線（内田）	橋梁架替・バイパス	和水町						518	
53-A1-10	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 玉名山鹿線（元玉名）	新設・バイパス	玉名市						41	
53-A1-11	道路	一般	熊本県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 水俣田浦線（大迫工区）	新設・バイパス	水俣市						320	
53-A1-12	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 水俣田浦線（岩城工区）	現道拡幅	水俣市						1	
53-A1-13	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 芦北坂本線（百済木工区）	現道拡幅	八代市						207	
53-A1-14	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一) 新八代停車場線（西片）	新設・バイパス	八代市						790	
53-A1-15	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 荒尾南関線（平山工区）	新設・バイパス	荒尾市						41	
53-A1-16	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一) 平山荒尾線（平山工区）	新設・バイパス	荒尾市						46	
53-A1-17	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 熊本玉名線（小天工区）	新設・バイパス	玉名市						150	
53-A1-18	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主) 玉名立花線（月田工区）	現道拡幅	玉名市						140	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
53-A1-19	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主)玉名立花線(河崎工区)	現道拡幅	玉名市						20	
53-A1-21	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主)矢部阿蘇公園線(黒川)	新設・バイパス	山都町						50	
53-A1-22	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主)山鹿植木線(南島工区)	新設・バイパス	山鹿市						80	
53-A1-23	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)原植木線(吉富工区)	新設・バイパス	菊池市						200	
53-A1-24	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)瀬田竜田線(吹田工区)	新設・バイパス	大津町						80	
53-A1-25	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)立野停車場線(立野工区)	新設・バイパス	南阿蘇村						70	
53-A1-26	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)稲生野甲佐線(中横田工区)	新設・バイパス	甲佐町						100	
53-A1-28	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)下郷北新田線(北部田工区)	新設・バイパス	宇城市						70	
53-A1-29	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主)小川泉線(落合工区)	新設・バイパス	八代市						200	
53-A1-31	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主)水俣田浦線(湯の尻工区)	現道拡幅	水俣市						20	
53-A1-32	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(主)芦北坂本線(宮浦工区)	新設・バイパス	芦北町						60	
53-A1-33	街路	一般	熊本県	直接		S街路	改築	(都)荒尾海岸線ほか1線	新設・バイパス L=0.82km	荒尾市						200	
53-A1-34	街路	一般	熊本県	直接		S街路	改築	(都)長洲玉名線	新設・バイパス L=1.34km	長洲町						215	
53-A1-36	街路	一般	熊本県	直接		S街路	改築	(都)南部幹線ほか1線	新設・バイパス L=0.9km	八代市						300	
53-A1-38	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)内牧坂梨線(手野2工区)	新設・バイパス	阿蘇市						200	
53-A1-39	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)内牧坂梨線(北坂梨工区)	新設・バイパス	阿蘇市						400	
53-A1-40	道路	一般	熊本県	直接		都道府県道	改築	(一)内牧坂梨線(三野工区)	新設・バイパス	阿蘇市						200	
合計															6,157		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
53-B1-1	道路	一般	熊本県	直接	—	改良	交通安全施設等整備事業費	警戒標識・標示新設	県内全域						8	
合計															8	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
53-B1-1	バイパス整備などにあわせ交通安全施設等を整備することで、早期に供用開始することができ、安全性が向上する。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・現道拡整備やバイパス整備等を行った結果、交通の円滑化が図られ、九州新幹線発着駅や工業団地へのアクセス強化に寄与した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①(新幹線利用客数の増加割合)	最終目標値	670万人/年	目標値と実績値に差が出た要因	効率的・効果的な事業展開により、目標値を上回ることができた。	
		最終実績値	673万人/年			
II 定量的指標の達成状況	指標①(拠点アクセス道路の道路利用率)	最終目標値	20.1%	目標値と実績値に差が出た要因	効率的・効果的な事業展開により、目標値を上回ることができた。	
		最終実績値	28.0%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項 (今後の方針等)

・今後とも、物流や広域交通活性化のための道路整備を進めていく。
